

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営指針

間仕切関連製品を中心に新製品開発とサービス向上を通じ、取引先・従業員・株主との共存共栄と社会への貢献を実現。

売上高成長率
4～6%（年平均）

営業利益率
8～10%

ROE
8%以上

投資計画
150億円以上

② 中長期の経営戦略

1. 既存間仕切事業の成長

首都圏を中心にオフィス市場への進出・営業拠点展開、移動間仕切製品のブラッシュアップ、ショールーム新規オープン、ウェブサイト刷新。

3. 生産・物流高度化

生産ラインの自動化設備導入と工程レイアウト見直し、協力会社との連携強化、グリーントランスフォーメーション推進、2024年問題対策と物流網再構築。

2. 新規製品の創出

製品企画人材の採用・育成、製品技術力と体制強化、デザイン性向上、パートナー企業との連携強化、顧客ニーズを反映するマーケティング強化。

4. ESG経営推進

環境・気候変動対応、働きやすい職場環境整備、ガバナンスとリスク管理体制強化による持続的成長実現。

③ 対処すべき課題

① 市場環境への対応

- ・ オフィス市場の堅調推移に対応した首都圏を中心とした営業展開。
- ・ 新しい働き方に対応したオフィス環境投資への適切な製品対応。

② 長期的社会課題への対応

- ・ 国内少子高齢化と生産年齢人口減少による労働力不足への施工人材確保。
- ・ 原材料・エネルギー価格高騰への対応とコスト削減。
- ・ 急速なデジタル化への対応とDX推進による業務改革。

③ 持続的企業価値向上

- ・ 株主資本コストを上回るROE達成に向けた経営体質強化。
- ・ 新規製品開発と既存事業深耕による業績拡大。

面接で使えるポイント

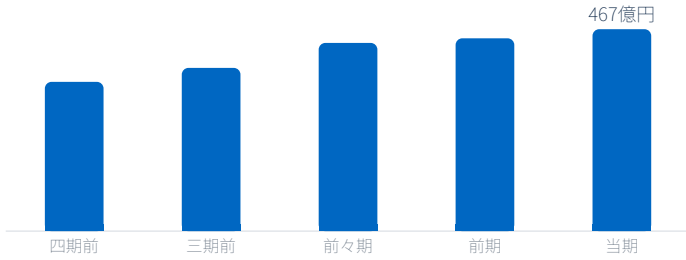
- ・ 「NEXT VISION 2028」で売上高年平均成長率4～6%を目指す同社は…
- ・ 間仕切専門メーカーとして、150億円以上の投資でDX推進と自動化設備導入により生産・物流高度化を進める。
- ・ 労働力不足や原材料高騰という課題に対し、協力会社との連携強化と新規製品企画を通じた競争力強化を実行中。

小松ウォール工業株式会社

その他製品 | プライム（内国株式） | 決算期 3月31日

証券コード 7949

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高 －（未開示）	営業利益率 －（未開示）	財務健康度 73点 / 100点
-----------------	-----------------	---------------------

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 54.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収 666万円 その他製品内 34位/105社	平均年齢 38.1歳 その他製品内 96位/105社	平均勤続 14.1年 その他製品内 55位/105社	女性管理職 1.9% その他製品内 72位/83社	男性育休 48.0% その他製品内 59位/63社
----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

参考: 小松ウォール工業(株)【7949】：決算情報

小松ウォール工業株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書
将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。
投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

